



**Amir Tsarfati**

**2020年9月19日「本物のユダヤ人とは誰なのか」**

—本物のユダヤ人のアイデンティティーについての聖書のおよび歴史的考察—

**【アミール】** 皆さん、シャローム。ビホールド・イスラエルのアミール・ツアルファティです。今日は、ゴラン・ブロシ博士のインタビューです。テーマは、「ユダヤ人とは誰のことか」「ユダヤ教/ユダヤ性とは何か?」「キリスト教は、新しい宗教なのか?」「それとも実際には、第二神殿時代にすでに存在していたユダヤ教の一形態なのか?」



私はこのインタビューをここ、イスラエルの海岸沿いの平原で行なうことにしました。地中海がイスラエルの地と出会うネタニヤの街です。ここは、何世紀にもわたって異邦人の世界とユダヤ人の世界との出会いの場となっているからです。イスラエルのユダヤ人、ユダヤ人のメシア、福音を、外側からイスラエルの内側に向かって見るのは興味深く、大事な事だと思えます。本物のユダヤ人とは誰なのか?

ゴラン・ブロシ博士、今日はお越しくださり光栄です。私達は、もうかなり長い間の知り合いですね。

**【ブロシ博士】** ベセスダ集会だね。

**【アミール】** そう、ベセスダ集会です。私はまだそこに所属していますが、先生は、イスラエルの北部から中心部に引っ越されました。そして、先生はイスラエル聖書大学の教授ですね。

**【ブロシ博士】** はい。

**【アミール】** 少し自己紹介をしてもらえますか。

**【ブロシ博士】** はい、そうですね。ご一緒できて光栄です。私は、北部にあるキブツ・マルキヤで生まれ育ちました。本当に超無神論的、超共産主義的な環境で、私達は子供の家で寝ていました。子供たちは両親のものではなく、キブツのものでした。しかし、神は世界で最も暗い場所にも手を伸ばすことがお出来になり、アメリカのオレゴン州から証する為に御使いを送られました。でも、この御使いは、とても経験が浅くて、彼がどのように私に証をし、私に何を言ったか分かりますか?何も言わなかったんです。でも、彼の行動、彼の振る舞いに私は圧倒されました。「この人は一体どういう人なんだ?」

**【アミール】** 実在する人ですね?

**【ブロシ博士】** キブツにボランティアに来てくれた実在の人物です。彼は言葉では証しをせず、その行いで証しをしたんです。しかし私はあまりにも頑固で、愚か過ぎたんですね。それで理解しませんでした。それで、神は別の御使いを送らねばなりません。今回は韓国から。これ以上の異邦人はいませんか?

**【アミール】** そうですね。

**【ブロシ博士】** またしても、この御使いは何と言ったでしょう?何も言いませんでした。でも、私は彼女の目にイスラエルの栄光、イスラエルの救いの栄光を見ました。彼女の目には、それが映っていました。手短かに言えば、イエシュアが私を救ってくださってから、私達は結婚しました。結婚して、子供が二人います。私達はこの近く、このホテルの近くに住んでいます。

**【アミール】** 先生はハイファ大学を卒業されたんですね。

【ブロン博士】 最初にハイファ大学に行き、その後、ヘブライ大学に行きました。それからDTS、ダラス神学校で博士号を取得しました。そして、私はICB(イスラエル聖書大学)で教師をしています。

【アミール】 素晴らしいですね。最近、先生は本を書かれて、それは今、翻訳されているところですね。

【ブロン博士】 はい。『The Myth of the Oral Law』(口伝律法の伝説)ヘブライ語で書いています。今、英語に翻訳されているところです。

【アミール】 素晴らしい。

【ブロン博士】 英語で提供できるように。

【アミール】 素晴らしいです。イスラエル聖書大学のある、この海岸沿いのネタニヤの街で、今朝私達が話す内容は、文字通り、世界中で何百万人もの人を悩ませる話題です。そして、残念なことに、それはまた、神の民を混乱させるための敵の手中にある道具でもあります。その話題とは、「本物のユダヤ人とは誰なのか？」

【ブロン博士】 それに加えて、本物のユダヤ人はいるのか？なぜ「ユダヤ人はもういない」と言う人達がいるのか。私達は、それについて話しますが、まず言わねばならないのは、「ユダヤ人とは何か？」

【アミール】 イスラエルとは誰か？ユダヤ人とは誰か？

【ブロン博士】 それで、私達は世界で一番有名な本、世界で一番古い書物を参考にします。聖書です。

【アミール】 はい。

【ブロン博士】 そして聖書には、イスラエルが何千回ではないにしろ、何百回も登場します。聖書の中のイスラエルは、イスラエルの神か、あるいはアブラハム、イサク、ヤコブの血を引く物理的子孫です。

【アミール】 そこで大きな疑問は、ユダヤ人は民族(エトノス)なのか、それとも精神(エトス)なのか、ということですね。

【ブロン博士】 主要な疑問は次の通りです。ユダヤ性とは宗教なのか、それとも、ユダヤ性はスウェーデン人や中国人のように民族的集団なのか？ 聖書では、新約聖書にはまだ行きませんが、旧約聖書の中ではイスラエルとユダヤ人は、ただ物理的な子孫だけです。たとえ彼らが律法を守らなくても。

【アミール】 彼らは、それでもユダヤ人ですね。

【ブロン博士】 聞いて下さい。これはもう、ほとんど狂っています。たとえ彼らがユダヤ教、例えばユダヤ律法を維持していなくても、彼らはまだユダヤ人なんです。彼らは世俗的かもしれないし、彼らは...

【アミール】 彼らはユダヤ人として生まれたからですね。

【ブロン博士】 その通り。ユダヤ人とは...ちなみに、旧約聖書では、父系なんです。

【アミール】 その通りです。

【ブロン博士】 この後すぐに、改宗のことや母系について話しますが、聖書の中では、いつも父系であり、それはヨセフにも見られます。ヨセフは誰と結婚しましたか？アセナテです。アセナテはエジプト人でした。タルムードによると、ヤコブの子供たちは皆、エジプト人と結婚したヨセフ以外、ヤコブの他の子たち11人はカナン人の女たちと結婚しました。だから、彼らはユダヤ人女性と結婚しなかったんです。しかし、彼らの息子たちは、それでもユダヤ人とみなされていました。



【アミール】 種だからですね。種は常に父親から出ます。

【ブロン博士】 父親からです。

【アミール】 要するに、ユダヤ人の父親の子孫は自動的にユダヤ人になる、ということですね。

【プロシ博士】 旧約聖書によると、それが唯一の基準です。

【アミール】 今日でも。

【プロシ博士】 今日では…

【アミール】 いえ、聖書的に見れば

【プロシ博士】 聖書的に。

【アミール】 今日でも、そうですね。神は一度もそれを変えなかった。

【プロシ博士】 その通り。神は、それを変えていません。問題は、人間がそれに手を出したんです。しかし、「ユダヤ人」という言葉は…驚く人もいるかもしれませんが、「ユダヤ人」という言葉は、エレミヤ書とエステル記にしか出てきません。モルデカイはユダの子孫ではありませんでした。モルデカイはユダ族の出身ではありませんでしたが、ユダヤ人のモルデカイと記載されています。彼はイスラエルから来たからです。彼はヤコブの子孫でした。だから、モルデカイはユダヤ人ですが、それは、彼がユダヤの人だったからではなく、必ずしもユダ族の出身だからではありません。彼は実際はベニヤミン族の出身です。しかし、彼はヤコブの子孫です。ですから、創世記から後のエステル記に至るまで、ユダヤ人はアブラハム、イサク、ヤコブの子孫なんです。

【アミール】 なるほど。ところで今日、「ユダヤ人(Jew)」という言葉がありますが、また「ユダヤ性(Judaism)」という言葉もあります。「ユダヤ性」については、誰もがユダヤ人の宗教のことだと言います。

【プロシ博士】 その通りです。そこで問題は、ユダヤ性という言葉が最初に現われるのはどこなのか、です。信じられないでしょうが、でもその前に、新約聖書はユダヤ人をどのように定義しているでしょう？

【アミール】 ええ。

【プロシ博士】 新約聖書では、イスラエルはどのように定義されているでしょう？驚く人もいるかもしれませんが、旧約聖書と全く同じです。全く同じ。さて、「ユダヤ人」という言葉は、新約聖書の中に100回以上出てきますが、常にイスラエルの血を引く物理的な子孫を指しています。彼らがイエシュアを信じて、イエシュアを否定しても、彼らがイスラエルの神に従っても、他の神々に従っても、イスラエルの子孫は、生まれ持ったもの、DNAによるんです。

【アミール】 血筋ですね。

【プロシ博士】 その通りです。ユダヤ人とは血筋です。その通り。あなたが何を信じようとか関係ない。あなたが何を実践しようとか関係ない。必ずしも真理に従うとは限りませんが、ユダヤ人であることに変わりはありません。というのは、やはり他の民族と比較してみると、中国人は、どうして中国人であることをやめることができるのでしょうか？あれを信じようが、これを信じようが関係ありませんね。中国人に生まれたから中国人なんです。それを変えることはできません。

さて、新約聖書では…これが問題の始まりなんです。新約聖書では「ユダヤ人」という言葉に他の意味があります。ヨハネの福音書の中で「ユダヤ人」という言葉は何度も出てきます。しかし、そのヨハネの福音書では、時折、「ユダヤ人」という言葉は、ユダヤ人の指導者のみを指すことがあります。

【アミール】 ユダヤ人のリーダーたち。

【プロシ博士】 すべての学者が同意しています。イエシュアを否定した宗教的なユダヤ人達が、「ユダヤ人」と呼ばれるのは、彼らがユダヤから来ているからです。エルサレムから。ガリラヤ人とは違って。シモンを取り上げましょう。シモン・ペテロ。彼は、ガリラヤ出身のユダヤ人です。

【アミール】 では、時として、福音書で「ユダヤ人」という言葉が使われる時、それはユダヤ出身でない人や指導者でない人達の事ではない場合がある？

【プロシ博士】 その通りです。ですから、ヨハネの福音書でイエシュアがユダヤ人を非難している時、ユ

ダヤ人全体を非難しているわけではありません。彼が「**あなたがたは、あなたがたの父である悪魔から出た者であって**」と言う時、彼は特定のユダヤ人、パリサイ人達に語っています。パリサイ人、祭司、律法学者達ですが、主にエルサレムに住んでいた律法学者とパリサイ人達です。彼らはガリラヤ人であったシモンと違ってユダヤの人 (Judean) でした。しかし、もちろんシモンはユダヤ人 (Jew) でした。サウロ、つまり使徒パウロはユダヤ人 (Jew) でしたが、ユダで生まれてないので、ユダヤの人 (Judean) ではありませんでした。

【アミール】 それで、新約聖書ではユダヤ人を指すのに、二つの方法がありますね。アブラハム、イサク、ヤコブの子孫。

【プロシ博士】 ユダヤ人全部ですね。

【アミール】 はい。あるいは、宗教的で非常に律法に熱心だった指導者たち。それで私は思うのですが、否定的な意味の「ユダヤ人」とは、きっと指導者のことだけを指していたのでは？

【プロシ博士】 その通りです。学者達が発見した事ですが、新約聖書でユダヤ人が否定的に語られる時は、いつも一部のユダヤ人だけを指しています。そして、これもまた本当に重要な事で、「真理の道」についての議論は、ユダヤ教の中のものなんです。ユダヤ人の領域の中では、多くのグループ、多くのユダヤ教があります。

【アミール】 支流ですね。

【プロシ博士】 その通り。流派、グループです。エッセネ派、パリサイ派、サドカイ派、イエシュアに従う者たち。そして議論は家族の中で起こっています。これを理解するのは重要なことです。霊的ユダヤ人という意味で、誰が真のユダヤ人かという議論はユダヤ教の領域内のものです。

【アミール】 うわー。いま仰ったのは、<sup>おっしゃ</sup>すごく大事なことです。今、先生が仰ったのは…つまり現実を見てみると、たくさんの異邦人信者が、自分達こそが霊的なイスラエルであると信じています。誰が本当のユダヤ人かとか、そういう事になると、霊的な意味のユダヤ人と物理的な意味のユダヤ人がいる、と。しかし先生が言っているのは、福音書や書簡において、霊的なユダヤ人のことや、また物理的なユダヤ人のことが語られる時、それはユダヤ人内部での議論だったわけですね。

【プロシ博士】 その通りです。ユダヤ人の中で。

【アミール】 霊的な人もいれば、肉的な人もいます。

【プロシ博士】 その通りです。

【アミール】 そして宗教的な人もいます。

【プロシ博士】 聞いてください。イスラエルにおける世俗的なユダヤ人の割合は？ 世俗的なユダヤ人が何人いるでしょう？

【アミール】 今は7割くらいですね。

【プロシ博士】 7割！では5割と言うことにしましょう。

【アミール】 5割としましょう。

【プロシ博士】 では、彼らはユダヤ人かユダヤ人ではないのか？

【アミール】 もちろんユダヤ人です。

【プロシ博士】 もちろんユダヤ人ですが、世俗的です。ホロコーストなどのために、彼らは神を捨てています。しかし彼らはユダヤ人です。では、イスラエルで議論はありますか？

【アミール】 もちろんです。

【プロシ博士】 政治についてなど、どの国でもあるように議論があります。

ちなみに、霊的なものと物理的なものを分けるのは、本当に危険です。それはグノーシス哲学に繋がりますから。人間は霊であると同時に、肉体です。アミールを霊から分けることはしません。霊は、あなたの肉体

を必要とし、そして、あなたの肉体は霊を必要とします。だから、これらの質問、つまり、「イスラエルは物理的だが、霊的なイスラエルは...」と言うのは違います。

【アミール】 では、イスラエルは物理的ですが、物理的なイスラエルの中に霊的なイスラエルもあった、ということですね。

【プロシ博士】 ダニエル・ボヤーリン教授はアメリカ在住だと思いますが、彼は言っています。「"キリスト教"、"ユダヤ教"という考えはやめろ」1世紀には数々のユダヤ教、数々の道がありました。いろんなユダヤ教が。メシア派ユダヤ教、ラビ的ユダヤ教。

【アミール】 ユダヤ人でない人は、自分自身をどう定義するのですか？

【プロシ博士】 ユダヤ人でない人は...

【アミール】 ユダヤ人でない信者は？

【プロシ博士】 ええ、でも聞いてください。ボヤーリンが言うには、異邦人が信仰を持つようになる前にそれ以前に、福音書の時代、異邦人が救われる前に、たくさんの形態のユダヤ教がありました。

【アミール】 つまり、ユダヤ教の中に「キリスト教」はなかった、という事ですね。あったのは、ユダヤ教のもう一つのグループ。

【プロシ博士】 その通りです。「もう一つ」というだけではありません。もう一人、ヘブライ大学にいる教授が、メシア派ユダヤ教はラビ的ユダヤ教の前に存在したと言っています。

【アミール】 もちろんです。

【プロシ博士】 歴史的には、それは先に来たんです。だから聞いてください。多くのユダヤ教があります。問題は、どれが真のユダヤ教なのか？1世紀のユダヤ教にあった葛藤は、何が（その）道なのか、ということでした。誰が聖書からの権威を持っているのか？

【アミール】 何が道であり、何が真理であり、何がいのちなのか？

【プロシ博士】 その通り！

【アミール】 だから、イエスは彼らにそれを告げねばならなかった。

【プロシ博士】 その通り。そして、イスラエルに対する権威は、誰が持っているのか？パリサイ人？祭司たち？サドカイ派？誰が人々に対して権威を持っているのか？聞いてください。この意味する事がすごいのです。なぜなら、もしメシア派ユダヤ教こそが本当のユダヤ教であるなら、もちろん、私達はそう信じていますが、想像してみてください...これはユダヤ教です。メシア派...キリスト教はユダヤのものなんです。

【アミール】 要するに、実際はキリスト教こそが、本当のユダヤ教なんですね。

【プロシ博士】 これで分かりますね。ヘブライ大学のユヴァル教授は、そのテーマに集中して本を一冊書いています。ラビ的ユダヤ教信仰のキリスト教的ルーツについて。

【アミール】 へえーっ。

【プロシ博士】 キリスト教的ルーツ...ラビ的信仰のキリスト教的ルーツ--。ラビ的ユダヤ教のすべての儀式、祝日について、彼は、メシア派ユダヤ教にその起源を見出すことができるんです。

【アミール】 しかし、彼はそれを"クリスチャン"と呼びました。

【プロシ博士】 彼はキリスト教と呼んでいます。彼は、それがユダヤのものだと知っています。そして、例を挙げています。セーダー、<sup>すきごし</sup>過越ですが、彼が見つけることのできる最初の過越は、福音書にあります。最後の晩餐です。聞いてください。この教授は世俗的な教授です。最初のセーダー、最初の過越、歴史

的に家族が集まって、歌って食べるという、今日知られている形の過越の最初のもは、福音書の中の、最後の晩餐の中に見られます。200年後に登場した、ラビ文学にはありません。

【アミール】 ということは、ラビの文献では1世紀以前の過越のセーダーを一回も記録できないんですね。

【プロシ博士】 なぜならば、ラビの文献はずっと後のもので、教授は歴史学者なので「待てよ、文書を調べよう」と言います。

「新約聖書の文書がラビの文書よりも先に来るのであれば、それをそのように扱わねばならない」つまり、<sup>すぎこし</sup>過越の最初の記述は新約聖書にあると言っているのです。いま問題になるのは、先ほど旧約聖書も新約聖書もユダヤ人はアブラハム、イサク、ヤコブの子孫であると言いましたが、では、ラビの文献ではどうでしょうか？ラビの文献に関して言えば、ユダヤ人とは誰でしょうか？



【アミール】 「ユダヤ人とは誰なのか」について、聖書による定義があります。

【プロシ博士】 旧約と新約の聖書です。

【アミール】 旧約聖書と新約聖書。それは神の言葉です。しかし、ラビ的ユダヤ教は、ユダヤ人とは誰かについて、異なる定義を提供しているんですね。

【プロシ博士】 異なるだけではなく、それは改革であり、今日にも反響しています。大改革です。と言うのも、ラビ文学は「ユダヤ人」という言葉を、革命的に変化させたからです。彼らはイスラエルに対する権威を手に入れたかったので、こう言いました。「もしあなたが我々の政党、パリサイ派に加わらなければ、あなたのユダヤ性が危険にさらされる。あなたが我々の種類のユダヤ教に従わないなら、あなたのユダヤ性は失われてしまうかもしれない」

【アミール】 では、実際のところ、ユダヤ性はエトノス(民族性)ではなく、エトス(精神性)だと最初に言ったのは、ユダヤ人だったんですね。

【プロシ博士】 その通りです。

【アミール】 ラビの組織。

【プロシ博士】 ラビ的ユダヤ人は、歴史上、最初に「ユダヤ性はただ宗教的なものだ」とか、「主に宗教的なものだ」と言ったユダヤ人です。我々の種類の宗教、我々の種類のユダヤ教、つまりラビ的ユダヤ教に従わないなら、あなたのユダヤ性が危うくなる。これは革命です。驚くべき革命です。では、タルムードのメギッラーからの引用を見てもらいたいと思います。彼らは問います。「なぜエステル記に登場するモルデカイは、ユダヤ人と呼ばれたのか？」さて、明白な答えは、モルデカイがユダヤ人と呼ばれたのはヤコブの子孫だからです。彼の出身部族は...タルムードは「違う」と言いました。ラビも「違う」と言いました。彼がユダヤ人と呼ばれたのは、彼が異教崇拜を拒絶し、偶像を拒絶したからだ、と。聞いてください。タルムードのこの論文によると、モルデカイがユダヤ人と呼ばれたのは、彼の身体的な出自のためではなく、「エトス」のため、彼の神学が正しかったからです。

これは信じられません！これは世界のどこでも通用しません。世界中どこでも。それを世界の他の民族に当てはめてみたら、どんな民族にも通用しません。しかし、ラビは言いました。モルデカイがユダヤ人と呼ばれたのは、彼が異教崇拜や他の神々の崇拜を拒んで、イスラエルの神のもとに留まったからだ。

【アミール】 ほう！

【プロシ博士】 これは信じがたいことです。さて、学者達の言うところでは、ラビは、さらにそれを推し進めました。キリスト教を否定するなら、あなたはユダヤ人と呼ばれます。メシヤとしてのイエシュアを否定するならば、それだけでユダヤ人と呼ぶことができる。ですから、本当のユダヤ人、真のユダヤ人とは、特定の神学、特定の信念を拒否した者のことです。

【アミール】 あなたがキリスト教徒でないなら、あなたはユダヤ人。

【ブロシ博士】 その通りです。これがきっかけになって...

【アミール】 それがラビの教えです。

【ブロシ博士】 これで、この改革への扉が開かれます。これは、「エトノス」としてのユダヤ性から「エトス」への変化です。さて、エトスとは考え、神学、宗教です。これが混乱を生じさせます。ユダヤ性とは何か？それは宗教なのか、それとも民族なのか？ユダヤ性とは何か？混乱が始まったのは、その時からです。

【アミール】 さて、今日のテーマは「だれが本当のユダヤ人か？」です。旧約聖書と新約聖書に立ち返ると、真のユダヤ人とはアブラハム、イサク、ヤコブの子孫全員です。

【ブロシ博士】 その通り。

【アミール】 そこへ、ラビ的ユダヤ教が登場して言います。「本物のユダヤ人とは、

A) 我々の伝統、我々の党に従い、

B) キリスト教徒ではない者」

【ブロシ博士】 彼らが敵（イエス）を否定するのであれば、敵です！なぜなら、聞いてください。聖書の権威を巡って政治的な争いが起きていて、メシア派ユダヤ人が増え、彼らの人口は増加しています。ラビ的ユダヤ人も増加しています。そこで彼らは言います。「あなたが彼らを拒絶する限り、あなたは我々の仲間だ」でも、これが政治的なものであることを忘れないで下さい。そして、これを理解してください。それは、家族内での家族同士の争いなんです。これは権力をめぐる家族内の争いです。一つの驚くべき決断がユダヤ世界を永遠に変えました。それは、使徒の働き15章に書かれています。

【アミール】 私はその章が大好きで、いつも引用しています。

【ブロシ博士】 イェシュアのユダヤ人の弟子たちは、どうしていいか分からなかったのです。それまで起こった事のないことが起きていたから。異邦人がメシアを受け入れているのです。彼らはユダヤの道、この種のユダヤ教を受け入れているんです。

【アミール】 だからこそ、それはユダヤの議論だったんですね。「異邦人をどうするか？」

【ブロシ博士】 疑問が出てきました。「異邦人をどうするのか？」何故だか分かりますか？なぜなら、ラビ派では異邦人が加わって来ると、彼らは、もはや異邦人ではないからです。彼らは改宗してイスラエルになることによって、言ってみればイスラエルに取って代わっているのです。そこで彼らは自問しました。「イェシュアに従う異邦人は、ラビ派が改宗するように改宗すべきか？」

【アミール】 お読みしますね。

「ある人々がユダヤから下って来て、兄弟たちに、『モーセの慣習に従って割礼を受けなければ、あなたがたは救われない。』と教えていた」（使徒の働き15:1）

【ブロシ博士】 改宗しない限り。これは改宗、割礼です。

【アミール】 あなたが改宗しない限り...

【ブロシ博士】 ユダヤ教に。

【アミール】 つまり、こう言うことですね。パウロに従っていた人達は、魂や霊のことを肉のことほど気にしていなかった。

【ブロシ博士】 そして、彼らはイェシュアを信じていたユダヤ人で、もともとはパリサイ派だったと書い

てあります。彼らは、こう思っています。「ちょっと待てよ。ラビたちは、異邦人を改宗させている。彼らがキリストに従うなら、我々も、彼らを改宗させるべきだ」彼らが、あの種のラビ的ユダヤ教に従う上で改宗するのなら、彼らは、この種のユダヤ教、つまり、メシア派ユダヤ教に従う場合も改宗すべきだ。

【アミール】 <sup>おっしや</sup>仰っているのは、つまり、彼らは、建前はキリストに従っていたけれども、彼らの理解はねじれていた、ということですね。

【プロシ博士】 その通り！彼らはラビ派の出身だったから。

【アミール】 なるほど。

【プロシ博士】 彼らはラビ派ユダヤ教からメシア派ユダヤ教に救われ、そして言います。「さあ、みんな、彼らを改宗させよう」

【アミール】 だからこそ、私達が知っての通り、パウロは、はるばるエルサレムに行ったんですね。

「彼らは教会と使徒たちと長老たちに迎えられ、神が彼らとともにいて行なわれたことを、みなに報告した。しかし、パリサイ派の者で…」(使徒15:4-5)

【プロシ博士】 そうです。彼らは何と言いましたか？

【アミール】 「信者になった人々が立ち上がり、『異邦人にも割礼を受けさせ、また、モーセの律法を守ることを命じるべきである。』と言った」

【プロシ博士】 彼らをユダヤ人にするために。彼らは言いました。「異邦人は、ユダヤ人にならねばならない」ラビ達がやっていたように。

【アミール】 今日に至るまで、ユダヤ人になりたがる異邦人がいます。面白いです。

【プロシ博士】 答えは何ですか？

【アミール】 答えは…まず第一に、

「使徒たちと長老たちは、この問題を検討するために集まった」(使徒15:6)

それは大問題でした。終わりまで読みます…私はペテロの演説が大好きです。ペテロが最初に言いましたから。ペテロは言います。「皆さん、申し訳ないけど…」

「ペテロが立ち上がって言った。『兄弟たち。ご存じのとおり、神は初めのころ、あなたがたの間で事をお決めになり、異邦人が私の口から福音のこぼを聞いて信じるようにされたのです。そして、人の心の中を知っておられる神は、私達に与えられたと同じように異邦人にも聖霊を与えて、彼らのためにあかしをし、私達と彼らとに何の差別もつけず、彼らの心を信仰によってきよめてくださったのです。それなのに、なぜ、今あなたがたは、私達の先祖も私達も負いきれなかつたくびきを、あの弟子たちの首に掛けて、神を試みようとするのです。私達が主イエスの恵みによって救われたことを私達は信じますが、…」見てください。彼らは、彼らの妬<sup>ねた</sup>みを引き起こしています。「あの人もそんなのです」(使徒15:7-11)おもしろくないですか？

【プロシ博士】 それで決議、その決定は、このユダヤ教、メシア的ユダヤ教を受け入れている異邦人は…

【アミール】 決議は19節にあります。はい。

【プロシ博士】 19節には何と書いてありますか？

【アミール】 はい、決議は…

「そこで、私の判断では、神に立ち返る異邦人を悩ませてはいけません。ただ、偶像に供えて汚れた物と不品行と絞め殺した物と血とを避けるように書き送るべきだと思います」(使徒15:19-20)



それだけです。

【プロシ博士】 彼らは(ユダヤ人に)ならなくても...

【アミール】 彼らは割礼を受けなくていいんです。

【プロシ博士】 改宗する必要はありません。彼らはユダヤ人になる必要はない。何故かと言うと、彼らはユダヤ人にはなれませんから。イエシュアを受け入れる中国人が、どうしてユダヤ人になれるでしょう？どうしてユダヤ人になれるのか？その人は絶対にヤコブの子孫になることはできません。

【アミール】 その通りです。

【プロシ博士】 キリストに従い、霊的な面でユダヤ性に従う事で、もしかしたら、霊においてはユダヤ人なのかもしれませんが、

【アミール】 物理的には...

【プロシ博士】 物理的には、決してユダヤ人にはなれません。でも...

【アミール】 接ぎ木されました。

【プロシ博士】 それで、イエシュアの弟子たちにはその決議があります。しかし、ラビの弟子たちはその正反対の決定をしました。我々の道、ラビ的な道に従う異邦人は改宗しなければならない。彼らには選択肢もありません。ユダヤ教の中の一つのグループ、メシア派ユダヤ教は改宗する必要はないと言い、もう一つのグループは改宗しなければならないと言います。さて、その意味が驚愕(きょうわく)なのです。と言うのも... 一つお尋ねしましょう。世界ではユダヤ人と異邦人のどちらが多いですか？

【アミール】 絶対的に異邦人です。

【プロシ博士】 異邦人。だから、異邦人が数千人単位でイエシュアに信仰を持つようになるなら、数年後には、この動きは人口統計学上の変化をもたらすでしょう。というのは、最初はメシア派のユダヤ人の方が多くても、数年後には異邦人のユダヤ人の方が多くなるでしょうから。

【アミール】 それが現実ですね。

【プロシ博士】 今日でもそうなんです。イエシュアに従う異邦人の方が多いです。だから、この宗教は異邦のもののように見えます。異邦人だらけだから。そうでしょう？言うまでもなく、異邦人の方が多いですから。では、ラビ側には何が起こったのか？ラビ的ユダヤ教では改宗せねばなりません。そのため、ラビ的ユダヤ教を受け入れた異邦人は、皆ユダヤ人となりました。それで、それは大きくなりました。メシア派ユダヤ教がユダヤ人として人口的に縮小したとしたら……。

【アミール】 ラビ的ユダヤ教は増加した。

【プロシ博士】 その通りです。それが今ある現状です。

【アミール】 そして、必ずしも皆が本物のユダヤ人ではありません。

【プロシ博士】 そうなんです。ラビ・アキバはユダヤ人ではありませんでした。ラビ・メイルやシェマーヤー、アブタリオン、ラビ的ユダヤ教の大物たち、彼らの中には物理的にユダヤ人ではない人達がいきました。彼らは改宗してユダヤ人になりました。あたかもそれが可能な...

【アミール】 彼らは改宗者だったんですね。

【プロシ博士】 その通り。そして、これが鍵になります。ラビたちが改宗を選び、改宗を考案しようとした時...と言うのも、それは旧約聖書のどこにも書かれていませんから。どこにもありません。新約聖書にそれが出てくるのは、イエシュアが、そうしている事で彼らを叱責している時です。彼は言います。

「あなたがたは、どうして世界中の異邦人を改宗できるのか。あなたがたはその人を自分より倍も悪いゲヘナの子にしている」(マタイ23:5参照)

あなたは彼らを地獄に送っている。それは間違ったユダヤ教だから。イエシュアは改宗に反対しています。なぜなら、スウェーデン人を、どうやってヤコブの子孫にすることができるのでしょうか？どうやって、その人の血を変えることができるのか？ここで言われるかもしれません。「待つ、ゴラン、ちょっと待つ。ラビたち自身は、本当にその改宗を信じているのでしょうか？彼らは、本当に中国人がユダヤ人になれると信じているのですか？そんなこと言って、それがナンセンスだって分かってるんでしょう？」

【アミール】 そうなんですか？

【プロシ博士】 ”ハラハー”はラビが承認した法で、ミシュナです。ハラハーは幾つかの質問をしています。ちょっと待つ。中国人が「改宗し」て、ユダヤ人となった。彼は父親にとって、たった一人の息子でした。父親は、まだ中国人です。父親は亡くなりました。誰に権利があるのか？息子には父親の相続権があるのでしょうか。イエスカノーか？なぜ疑問が生じたかという、彼がユダヤ人ならば、もう中国人ではありません。そこで、改宗した中国人は父親が亡くなった後に父親から相続する権利があるのか？タルムードの答えはノーです。もう中国人じゃないから。それだけではありません。ラビのユダヤ教への改宗者は、新生しています。

【アミール】 その言葉を使ったんですか？

【プロシ博士】 その「新生する」という用語は子供として新生するということです。「あなたが子どものようにならなければ」、「あなたが霊によって新しく生まれなければ」とイエシュアが言ったのを覚えていますか？このために、ヘブライ大学のユヴァル教授は次のように言っているのです。2つの動きの間には非常に多くの類似点があって、彼によると、ラビたちはメシア派ユダヤ教から語句を取ったのです。だから改宗者は新生して、子供のように新しいユダヤ教徒となるのです。さあ、別の問題が発生しました。率直に言ってすみませんが、

【アミール】 いいですよ、どうぞ。

【プロシ博士】 その中国人は、自分の中国人の妹と結婚できるのでしょうか？ラムバム(ラビ・マイモニデス)は、ハラハーによると、彼は妹と結婚することはできないと言っています。なぜ？彼の妹は、まだ中国人だから。彼女は異邦人です。彼女が改宗しない限り、彼は彼女と結婚できない。

【アミール】 彼女が改宗したら？

【プロシ博士】 彼女が改宗すれば、ラビ法に従えば、彼らは兄妹ではないので結婚できるんです！少なくともラビたちは、この改宗を信じていたということです。それは、ただのフィクションではなかったんです。「まあいいか。我々はその異邦人達を受け入れよう」というような。いいですか、ラビ・アキバはユダヤ人ではありませんでした。彼はレイチェルと結婚しました。彼はユダヤ人の女の子と結婚して彼の子孫はユダヤ人です。何も問題はありません。誰も...今日でさえも街中の人に「世界で一番有名なラビ系ユダヤ人は誰ですか？」と聞いたら、「ああ、ラビ・アキバかな」と。彼はユダヤ人ですらなかったんです。でも、彼の両親が改宗したから、今や、彼は「物理的な」ユダヤ人です。



彼は、ユダヤ人ですらなかったんです。でも、彼の両親が改宗したから、今や、彼は「物理的な」ユダヤ人です。

【アミール】 面白いですね。

【プロシ博士】 これよりもすごい置換神学がありますか？

【アミール】 分かりますよ。でも、面白いですよ、ゴラン。理由を言いましょう。サタンは、誰が本物のユダヤ人かを知っています。

【プロシ博士】 そして彼は、混乱させるために来ましたね？

【アミール】 そう。しかし彼は知っています。ユダヤ人を排除したいのであれば、イスラエルの敵に命じなければならない。ヒトラーを取り上げましょう。ヒトラーは宗教的なユダヤ人を探さなかった。彼はラビ

や、ラビ的ユダヤ教徒を探さなかった。

【プロシ博士】 彼は気に留めませんでした。

【アミール】 ヒトラーは、それがエトノスであると考えていました。

【プロシ博士】 その通り。

【アミール】 そして彼は、ユダヤ人の血を引くすべての人を狙いました。

【プロシ博士】 彼は知っていたからです。民族としてのユダヤ人を取り除けば、ユダヤ教を取り除ける。

【アミール】 そうです。

【プロシ博士】 物理的なものを、まず片付けると、霊的なものは、後で死にます。分かりますか？反ユダヤ人主義者の大半は、誰を攻撃するでしょう？霊的なユダヤ人、霊的なイスラエルですか？彼らは霊的なものを攻撃することは決してありません。彼らは、自分達が霊的なイスラエルだと思っているのです。だから、彼らは常にこの物理的なイスラエルを攻撃します。このことから、「本物のユダヤ人はいるのか」というのが全くナンセンスであることが分かります。反ユダヤ主義があるなら、本物のユダヤ人がいるということです。

【アミール】 面白いですね。<sup>おっしゃ</sup>仰る通りです。彼らはまず、もう本物のユダヤ人はいないと言い、それから、彼らは、世界中の問題を全部、ユダヤ人のせいにするんです。

【プロシ博士】 すべてを。どっちなのか決めないと。

【アミール】 そう。

【プロシ博士】 でも、もう一人イルミヤフ・ヨヴェルという教授がいて、彼は言います。「ちょっと待って、ちょっと待って。君たち、おかしいよ。ユダヤ性が宗教になった？」彼は言います。「ちょっと待って。ユダヤ性が宗教になったのだとしたら、それはどの宗教なのか？」改革派ユダヤ教なのか？保守的なのか？それは正統派か？世俗的なユダヤ人は？ユダヤ性が宗教だけなら、世界中の何百万人も世俗的なユダヤ人はどうなるのか？それで彼は、「もちろん、これはナンセンスだ」と言っています。もちろんユダヤ性とは、宗教だけではありません。それは最初から宗教のことではありませんでした。しかし、その一方でイルミヤフ教授は尋ねています。もし、ユダヤ性が民族的なものに過ぎないなら、別の問題が出てきます。全ての改宗はどうなるのか？全ての改宗者は？イエシュアの時代から今日までに来た何千人もの改宗者たちは？イルミヤフ・ヨヴェル、この教授は尋ねます。もしユダヤ教が民族性だけならば、これまでの改宗者をどうするのか？ラビ・アキバをどうするか？我々は彼を裏切るのか？彼のことは、どうするのか？そして、この「ユダヤ人とは誰か」という質問は、今でもユダヤ世界を悩ませています。それは一世紀にそうであったように、今でも家族内の争いなんです。イスラエルでは、最高裁で、まだ「ユダヤ人とは誰か？」という問題が残っています。さて、何があったかという、この混乱は世俗的イスラエル国家に影響を与えます。帰還法で。帰還法は誰もが知っていますが、世界中のユダヤ人に、“アリヤー”（帰還）をして、イスラエルに来る許可を与える法律です。

【アミール】 定義上、イスラエルはユダヤ人国家として宣言され、ユダヤ人のための国家です。

【プロシ博士】 前世紀の50年代、1950年に法律が成立しました。世界中のすべてのユダヤ人はアリヤーをして、イスラエルに来て、イスラエルに住み、イスラエルの市民となれます。全てのユダヤ人です。さて、70年代に、ラビ派と宗教派がそれだけではダメだと言いました。それだけではダメだ。誰がユダヤ人かを我々が決めたい。それで、政治的宗教団体の力によって帰還法は変更され、修正されました。私達はそれをティクーンと呼んでいます。法の修正です。そして世界で初めて、彼らは定義をしました。ユダヤ人は、誰がユダヤ人かを定義しました。3つの基準があります。1) ユダヤ人の母から生まれること。これは信じがたいことです。なぜなら、聖書ではユダヤ人の父親です。ところが、彼らはユダヤ人の母親からと決めたいんです。

【アミール】 ところで、それはいつ変わったんでしょう？

【プロシ博士】 タルムードで。彼らはタルムードで…

【アミール】 その理由は、ローマ兵士が…？

【プロシ博士】 良い質問ですよ。彼らは、それをエズラ記を理由にしますが、文脈を無視してエズラ記を読んでいるので、エズラ記は除外しておきます。ラビたちは、母親によってユダヤ人となるというこの改革について、エズラ記を理由にしていますが、実際にはタルムードにあるんです。しかし、学者達は、これはローマからの影響によるものだと言っています。ローマの法律では、ローマ市民であることが、何か母親と関係しているからです。だから学者達は、ラビたちがそこから採用したか、ローマ法の影響を受けたのだ、と言っています。しかし、最初の基準はユダヤ人の母。2) 改宗による。これはすごいですね。

【アミール】 つまり、ユダヤ教に改宗した異邦人ということですね。

【プロシ博士】 ラビ的ユダヤ教に改宗した異邦人は来て、アリヤーをすることができます。そして3つ目は、最も革命的なもの。3) 他の宗教に属していない。つまり、アミールがラビ的ユダヤ教以外のユダヤ教を受け入れていれば、アミールは、もはやユダヤ人ではない。

【アミール】 帰還法の目的では、ユダヤ人ではない。もし、イスラエル人ではない人がイスラエルに移住したい場合、その人がイエシュアに信仰を持っていたら、ユダヤ人とは認められない。

【プロシ博士】 そして、これが最強の混同です。宗教と民族を混ぜています。あなたの信仰が、あなたの民族性を決定するなど想像できますか？世界に、それが通用する場所があるでしょうか？

【アミール】 絶対にありません。

【プロシ博士】 これは信じられません！

【アミール】 質問があるのですが、エルサレムの第二神殿の破壊は、どのように今日のようなユダヤ教を再構築したのでしょうか？

【プロシ博士】 これは私達の議論で最も重要な問題の一つです。なぜなら、70年に神殿が破壊された時、聖書的なユダヤ教は、それと共に破壊されたのです。繰り返します。聖書的なユダヤ教、つまり古い契約、シナイの...祭司たち、神殿、いけにえに基づく聖書的なユダヤ教は、神殿とともに滅ぼされました。そこで、新しい契約が来なければなりません。何らかの新しい契約です。なぜなら、古い契約は破壊されましたから。

【アミール】 ちなみに、それは約束されていました。

【プロシ博士】 それは約束されていました。聞いてください。私達はユダヤ世界には多くのグループがあることを知っています。そして、それぞれがいわゆる「新しい契約」をもたらしています。というのは、神殿が破壊された時に、古い契約によるユダヤ教がそれと一緒に破壊されたことを、みな認識していたからです。なぜなら、祭司たちにはもう働く場所がなく、もはや生け贄はなく、礼拝の場もなくなっていました。聖書的なユダヤ教は破壊され、もう一つのユダヤ教、新しい契約が来なければなりません。

【アミール】 神殿の灰の中から、新しいものが立ち上がった。

【プロシ博士】 さて問題は、どの新しい契約が本当のものなのか？口伝律法のラビ系の新しい契約か、それともイエシュアの血によるメシアの新しい契約か。しかし、すべてのユダヤ人は今、何か新しいものが来なければならないことを知っていました。新しい契約が来なければならない。シナイ契約は守れないから...シナイ契約は、いけにえの働きに基づくものです。祭司によってのみ、そして、神がエルサレムで選んだ一箇所でのみです。だから聞いてください。2世紀には、ほとんどのユダヤ人が国からいなくなっていました。彼らはバビロンやヨーロッパにいます。だから、もはやイスラエルの地すらないのです。神殿は言うまでもありません。

【アミール】 神殿もなく、エルサレムもなく、イスラエルの地もないんですね。

【プロシ博士】 その通りです。それで今、新しい契約が来なければなりません。その意味では、ラビ的ユ

ダヤ教が新しい契約を提示し、メシア派ユダヤ教が新しい契約を提示しています。そして、ユダヤ人も異邦人も、どちらの新しい契約が真実なのか、預言者たちによって予期され、予告されたものかを決めねばなりません。どちらの「新しい契約」か。しかしそれは新しいものでなければなりません。イスラエルの誰も、世界の誰も、今日、シナイ契約を守っていませんから。誰も。できないんです。できるはずがありません。さて、ある人達は言います。「ちょっと待って。彼らは第三神殿を再建しているんじゃないですか？」そうですが、第三神殿では、感謝のいけにえだけです。だから、罪は別の手段で贖われねばなりません。

**【プロシ博士】** 聞いてください。イエシュアは、彼が罪の贖いであると言いました。メシア派ユダヤ教の新しい契約でイエシュアは「わたしが贖いである」と言いました。ラビのユダヤ教は言いました。「口承律法を学んだ賢い弟子たちが、イスラエルのための贖いである」聞いて下さい。これでお分かりでしょう。なぜヨヴェル教授が...

**【アミール】** これで、なぜ彼らがイザヤ書53章を混同するのか分かりました。

**【プロシ博士】** その通りです。なぜヨヴェル教授がラビ派とメシア派のユダヤ教が非常に似通っていると言っているか、理由がわかりますね。なぜなら、メシア派ユダヤ教では、イエシュアが「わたしが犠牲を払う」と言っています。

**【アミール】** わたしが究極のいけにえだ、と。

**【プロシ博士】** イスラエルのために、わたしが贖いをする、と。そしてラビ派、ラビ派のユダヤ教が言うには、今もイエシーバーで学んでいる賢明な弟子たち、「彼らこそが真の贖いだ！」と。ミドラーシュ・アボット・デ・ラビ・ナタンに書いてあります。「彼らがイスラエルのための真の贖いだ」それが想像できますか？だから選ばねばなりません。イエシュアがあなたの贖いになるのか、それとも、賢い弟子たちか。ラビたちは、どうやって彼らのユダヤ教をそんなに人気のあるものにしたのでしょうか？どうやって、誰かをユダヤ人にするのか？2つの方法があります。その人がユダヤ人なら、彼を世俗主義とか何であれ、彼が信じている種類のユダヤ教からラビ的ユダヤ教に改宗させねばなりません。そうやって、その人を本物のユダヤ人にするのです。けれど、もう一つ、学者達が言っているのは、外部の宣教、ユダヤ世界の外の宣教、宣教師、宣教師の働きは、改宗によって異邦人をユダヤ人にします。と言うわけで、ラビ的ユダヤ教は両刃の剣で行っています。ユダヤ世界の内部で改宗者を作る。ユダヤ世界の外では、異邦人から改宗者を作る。両方とも改宗です。世俗主義のユダヤ教から改宗させ、異邦人からユダヤ教に改宗させているのです。

**【アミール】** とても正直に言いますね。ご存知のように、私は率直に話します。これから話すことは、聞かせどころです。今回の内容は、まず第一に、誰もが理解できるもので、驚くほどの情報量でした。ユダヤ人内部に論争があるという理解。人々が文脈を無視して行なう議論。これには驚きます。しかし、私は一つ言いたい事があるんです。何千人、何十万人もの私達のフォロワーは、私の意見を正確に知っていますが、新約聖書から非常に聞こえの悪い二〜三節を取り出して、新約聖書が反ユダヤ的であるかのように見せかけている人達があります。それによって、彼らはクリスチャンでありながら、同時に反ユダヤ主義である事を正当化します。ですから、それらの聖句に取り組んで、自問してみましょう。新約聖書は反ユダヤ主義の書になり得るのか？

**【プロシ博士】** 「新しい契約は反ユダヤか？」というこの質問だけで、それは矛盾した表現です。「氷は温かいのか？」みたいに。どの新しい契約か？ラビ派の新しい契約？ラビ派の新しい契約が反ユダヤだ、とあえて言う人はだれもいないですよ？しかし、どの新しい契約のことを言っているのか？思い出してください。新しい契約はいくつかあります。「ああ、この新しい契約のことですか？」この新しい契約が... どうして？イエシュアが同胞のユダヤ人に対して話した際に、厳しい言葉が少しあるから？イザヤ書第1章を取ってみると、イザヤは彼らを毒蛇と呼んでいます。イザヤのことを反ユダヤ主義だと非難する人がいたら、気でも狂ったのか？

**【アミール】** 彼は反宗教なんです。

【プロシ博士】 これは信じがたいことです！家族内の争いがあると言いました。今日でも、政治的にも宗教的にもユダヤ教内で、イスラエル内で議論があるのです。何が(真の)道なのか。政治において、また、宗教において、真の道とは何か？ユダヤ人の中で議論があるのです。議論させてください。私達を支援してくれるのはいいが、私達に議論させてください。私達の仲間のユダヤ人たちに真実を納得させてください。でも、それはユダヤ人の議論なんです。厳しい句が幾つかある事は私も知っています。

【アミール】 読んでみましょう。ヨハネ8:44。

【プロシ博士】 でも、忘れないで欲しいのは旧約聖書にも、手厳しい聖句があります。でも、誰も何も言いません。

【アミール】 もちろん、<sup>おっしや</sup>仰る通りです。

【プロシ博士】 でも、なぜ誰も何も言わないのでしょうか？彼らは旧約聖書はユダヤのものだと思っているからです。旧約聖書はユダヤ教だと。ちょっと待ってください。新約聖書を書いたのは誰ですか？ユダヤ人イエシュアの弟子たちではないですか？では、なぜ新約を反ユダヤ主義と呼ぶのか？それが結局はユダヤのものなら、どうして反ユダヤでありえるでしょうか。そのヒーローはユダヤの人物、イエシュアなんです。

【アミール】 全くです。この本が、そんなに反ユダヤ的であるなら、私達二人、イスラエル生まれのユダヤ人が、どうしてイエシュアに信仰を持ち得ますか？

【プロシ博士】 これは、私達が聞かされている嘘です。そして、私達が福音書を開くと、「えっ！？この本が反ユダヤ？これは世界で最もユダヤ的な本だ！なんで私達に隠してたんだ？」

【アミール】 驚きです。はい。では、ヨハネ8:44に行きましょう。イエスはパリサイ人達、指導者たちに語って、こう言います。

【プロシ博士】 彼らの中には、イエスの弟子たちがいたんです。イエスに従っていた。忘れないでください。パリサイ人の中には、イエスに従っている人達がありました。

【アミール】 イエスは言いました。

「あなたがたは、あなたがたの父である悪魔から出た者であって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと願っているのです」 (ヨハネ8:44)

【プロシ博士】 それはかなり手厳しいですね。

【アミール】 非常に手厳しいですが、ゴラン、私には聞き覚えがあると言わざるを得ません。

【プロシ博士】 アミール、お聞きしますよ。数ヶ月後に、アメリカで選挙がありますか？

【アミール】 あります。

【プロシ博士】 対戦相手たちは攻め合ってますか？

【アミール】 はい。

【プロシ博士】 彼らは互いに攻め合っていて、それでも、彼らは、やはりアメリカ人ですか？

【アミール】 それでもアメリカ人です。

【プロシ博士】 彼らは反米ではない。少なくとも、自分が反米だと思っている人は一人もいませんね？

【アミール】 そうですね。どちらも自分は真のアメリカ人だと主張しています。

【プロシ博士】 そうです。しかし、アメリカの議論において、彼らは互いに攻撃し合うことができます。そして、両方とも、自分はアメリカ人じゃないとは思っていませんね？ですから、ここには論争があるんです。イエシュアは、



この別の宗派と論争しています。ちなみに、イエスは彼らのことを、「**あなたがたは、あなたがたの父である悪魔から出た者**」と呼んでいます。彼は自分の弟子の一人をサタンと呼びましたか？

【アミール】 ええ、面白いですね。興味深いです。マタイ16章です。明らかに、カエサリア・フィリピで、ペテロがまず、イエスのことを生ける神の子キリストだと認めました。そして、ペテロは、イエスがもうじき死ぬことを話したために、イエスをいさめます。

「イエスは振り向いて、ペテロに言われた。『**下がれ。サタン。あなたは、わたしの邪魔をするものだ。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。**』」（マタイ16:23）

【プロシ博士】 それで、聞いてください。イエシュアは弟子の一人を(サタンと)呼んで…「聖ペテロ」が反ユダヤ主義で、悪魔から出た者だと言うクリスチャンが一人でもいますか？サタンそのもの。そんなことを言えるクリスチャンが一人でもいますか？けれど、イエシュアがまだ信じていない他のユダヤ人に向かって話している時には、それは反ユダヤ主義なんです。ナンセンスだ。

【アミール】 その議論が弱いのは分かっているし、この表現を失礼しますが、「愚かな」ことも分かっています。でも、彼らはそう受け止めるんです。

【プロシ博士】 聞いてください。私達の言葉を鵜呑みにしないでください。ジョン・マッカーサー、ユダヤ人信者ではない、カリフォルニアのジョン・マッカーサーが解説書を書いています。彼は言っています。「イエシュアが言っている事は、彼は肉のユダヤ人に語っている」彼は、彼らは靈的にはユダヤ人ではないと言っています。論争を覚えていますか？ユダヤ人にとって、本当の靈的な道とは何か？だから、イエシュアは言っています。「わたしは、あなたがたが肉にあってはユダヤ人だと認識している」しかし、マッカーサーでさえ、彼らを「悪魔の子ら」と呼ぶのは、彼らが靈的な意味でユダヤ的生き方をしていないことを意味すると言いました。彼らは靈においてはユダヤ人ではありません。これがヨハネの福音書のこの節の意味です。

【アミール】 面白いですね。なぜなら、聖書にも書いてあって…今、思い出したんですけど、おそらく誰もが…誰もがヨハネ3:16を知っています。私達はいつもそれを引用します。でも、これを見てください。ヨハネの福音書3章17節で、彼は言います。

「**神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである**」それから、18節。「**御子を信じる者はさばかれない。信じない者は…、すでにさばかれている**」

【プロシ博士】 その通りです。

【アミール】 つまり、ユダヤ人であろうとなかろうと、キリストを信じていなければ、すでにさばかれています。それは明らかに…

【プロシ博士】 さて、イエシュアは弟子たちに何と言いましたか？「わたしは異邦人には遣わされていない。わたしは、イスラエルの家の滅びた羊のところに遣わされたのです」だから当然、論争はユダヤ人同士のものになります。なぜなら、イエシュアは異邦人とは決して議論されませんでした。彼は同胞の人達と議論しました。

【アミール】 そしてここで大きく「しかし」が入ります。ヨハネの黙示録第2章と第3章の二回、両方とも9節で書かれているのは、「ユダヤ人だと自称しているが、実はそうでなく、かえってサタンの会衆である人達」

【プロシ博士】 これは、私達が今日、耳にしている事です。

【アミール】 全くその通りです。

【プロシ博士】 ソーシャルメディアで...

【アミール】 今日の反ユダヤ主義者は、本物のユダヤ人のことを「サタンの会衆」と呼んでいます。

【プロシ博士】 反ユダヤ主義者についてですが、彼らはすでに反ユダヤ主義者です。ただ口実が要るだけです。ハマニヤパロのように。名前も思い出したくないドイツの”アレ”のように。彼らはただ、口実を必要としているだけです。ユダヤ人を憎むなら、何でも口実を見つけられます。

【アミール】 何でも好きな聖句を使えますね。

【プロシ博士】 黙示録のそれらの聖句が存在しなかったとしても、反ユダヤ的なものを何か見つけるでしょう。そうですね？

【アミール】 そうですね。同感です。

【プロシ博士】 彼らは口実が必要なだけ。

【アミール】 だから第2章では、手紙はエペソの教会へのものです。

【プロシ博士】 その手紙は誰に宛てて？

【アミール】 教会です！異邦人に宛てて！何と言っているか見てください。彼は教会に向けて話しています。これは、はっきりしていないといけません。これは、第2章9節と第3章9節の両方とも、イスラエルへの非難ではなく、これは”自称”している人達のことです。

【プロシ博士】 彼は、もはや物理的なユダヤ人に対して話しているのではありません。そこが重要です。

【アミール】 ここに書いてある事を読んでみましょう。彼は言います。

**「わたしは、あなたの苦しみと貧しさを知っている。—しかし、あなたは実際は富んでいる。—またユダヤ人だと自称しているが、実はそうでなく、かえってサタンの会衆である人達から、ののしられていることも知っている」**

そして、第3章では… 私は、これらの聖句を読むのを恐れていません。私は人がどれほど欺きがちになるかを知っていますから。今度はフィラデルフィアの教会に宛てられた手紙です。彼が何と言ってるか見てみましょう。彼はこう言います。

**「サタンの会衆に属する者、すなわち、ユダヤ人だと自称しながら実はそうでなくて、うそを言っている者たちに、わたしはこうする。見よ。彼らをあなたの足もとに来てひれ伏させ、わたしがあなたを愛していることを知らせる」**

では、思い出しましょう。これはローマ帝国で、1世紀、これらは小アジアの教会で、それらの教会の指導者たちに宛てた手紙です。ユダヤ人だと自称しているがユダヤ人ではなく、実際はサタンの会衆である人達について書かれています。

【プロシ博士】 さて、歴史学者達、歴史と状況を研究する聖書学者達は言っています。イエシュアはユダヤ人でない人達や、大体がユダヤ人でない人達で構成されている会衆に語りかけているので、なぜ、彼はユダヤ人だと自称しながら、ユダヤ人ではない人達がいると言っているのか？彼らは本当のユダヤ人ではないのに、どうしてユダヤ人だと自称できるのか？なぜ、そんなことをするのか？それで学者達が言うには、異教のローマ人は、皇帝を神のように崇拜していました。

【アミール】 カエサルのことですね？

【プロシ博士】 そう、カエサルを神のように。ですから彼が言っているのは、彼らは、「真の神に従う」という意味で、自らをユダヤ人と自称している。まるで哀れなメシア信仰の異邦人やユダヤ人は間違っていて、何の価値もないかのように。



【アミール】 我々が十字架につけた者に従っている。

【プロシ博士】 ええ。そしてローマ人はこう言っています。「我々は真の神に従っている。カエサルだ。我々が本当のユダヤ人だ」この意味での「ユダヤ人」というのは、ほめ言葉なんですね。「我々が従っているのは真の…」

【アミール】 でも、イエスは言われます。そうじゃない！

【プロシ博士】 彼らはユダヤ人ではない。本物のユダヤ人ではありません。1) 彼らはローマ人で、彼らはカエサルに従いました。彼らはカエサルを神として見えています。だから、もちろん、彼らはユダヤ人ではありません。しかし、それは本物のユダヤ人と全く関係ありません。

【アミール】 でも、ゴラン、面白いと思いませんか？私はこれを全面的に受け入れますが、でも、私が思うに、もし私達が...言うまでもなく、聖書は今日にも当てはまります。そして、これは黙示録です。つまり、この書の大半は、過去のことではなく、未来のことを語っているのです。そして私は...

【プロシ博士】 クリスマンで、ユダヤ人だと自称しているけど、本当はユダヤ人ではない人達がいるのでしょうか？

【アミール】 その通り、そこなんです！

【プロシ博士】 これは可能ですか？歴史は繰り返されるのか？

【アミール】 私が思うに... 今、気分を害している人達がいたら申し訳ありませんが、言わねばなりません。このために攻撃されるのも分かっていますが、構いません。誰でも、自分が真のイスラエルだと自称し、自分がイスラエルに取って代わり、今や、自分こそが真のイスラエルだと主張するクリスマン、すなわち、置換神学ですが、これは悪魔的で魔性のものだと私は信じています。そして私が思うに...

【プロシ博士】 私達は、彼らのために祈らないと。

【アミール】 そうです！彼らのために祈らなければなりません。しかし、私はこれこそがサタンの会衆だと信じています。私は、律法を守り、ユダヤ人よりも、もっとユダヤ的になるうとしている異邦人に何度も会ったことがあります。彼らは、恵みで救われている人達を、まるで彼らはキリスト教徒ではないかのように非難しているんです。

【プロシ博士】 私は異邦人の皆さんに良い知らせがあります。使徒の働き15章に戻ります。あなたがたは、ユダヤ人にならなくてもいいんです。これはラビ的ユダヤ教ではありません。私達は強制しません。イエシュアは誰にも強制しません。

【アミール】 全く同意します。

【プロシ博士】 これは朗報ですよ。中国人のままでいいんです。あなたはイスラエルになる必要はないし、イスラエルになることはできません。あなたはイスラエルの信仰を受け入れ、チームに加わります。あなたはユダヤ人にならなくても、ユダヤ信仰を受け入れる事ができるのです。

【アミール】 あのですね、このインタビューを個人的な観点から終わらせたいと思います。個人的な視点で、私達の妻たちのことです。現実を直視しましょう。私達の妻たちは、私達が話し合ったすべての事を正反射しています。

【プロシ博士】 そしてそれはパラドックスなんです。聞いてください。私の妻は韓国人です。私は、これ以上の異邦人はないと言いました。すみませんが、世界の果てです。妻は正統派の改宗に従って改宗したので、ラビ派の視点からすると、私の妻は合法的にユダヤ人です。彼女はもはや韓国人ではなく、ユダヤ人です。さて、あなたの奥さんは？

【アミール】 私の妻は、彼女の父親はユダヤ人です。

【プロシ博士】 それでは聖書的には彼女はユダヤ人ですね。

【アミール】 ホロコースト生存者の子孫です。私の妻は、デンマークでホロコーストを生き残ったユダヤ人の両親から生まれた父親と、異邦人で新生したキリスト教信者の母親のもとに生まれました。では、ゴラン、いいですか？ユダヤ人の父の血を引く私の妻は、ラビ派のユダヤ人からユダヤ人でないとみなされて、全くユダヤ人の血を引いていない、あなたの奥さんが、完璧なユダヤ人と見なされています。

【プロシ博士】 その通り。なぜかと言うと、彼女は神学テストに合格したからです。今まで私達が話してきた事を理解出来なかったとしても、これがその混乱の一例です。油と水を混ぜている。宗教を血、つまり民族と混同しているのです。私の妻が異邦人であるのに、神学テストに合格したため、ユダヤ人と見なされ、あなたの奥さんは、民族的にはユダヤ人だが、試験に合格しなかったから異邦人だと見なされている。

【アミール】 そうです。おかしいですね。

【プロシ博士】 狂ってます。

【アミール】 ここで締めくくりにしますが、これは言っておきたいんです。私の子供たち、あなたのお子さんたち、私の妻、あなたの奥さん、私の家族もあなたの家族も、重要なのは、どこから来たかではなく、どこに行くかが重要です。

【プロシ博士】 その通り。救いに関しては、道は一つしかありません。

【アミール】 その通りです。使徒の働き最終章で締めくくりたいと思います。使徒の働き28章17節

「三日の後、パウロはユダヤ人のおもだった人達を呼び集め、彼らが集まったときに、こう言った。『兄弟たち。私は、私の国民に対しても、先祖の慣習に対しても、何一つそむくことはしていないのに、エルサレムで囚人としてローマ人の手に渡されました。ローマ人は私を取り調べましたが、私を死刑にする理由が何もなくだったので、私を釈放しようと思ったのです。ところが、ユダヤ人が…』ユダヤから来た指導者のことです。「ところが、ユダヤ人が反対したため、私はやむなくカイザルに上訴しました。それは、私の同胞を訴えようとしたものではありません。このようなわけで、私は、あなたがたに会ってお話ししようと思い、お招きしました。私はイスラエルの望みのためにこの鎖につながれているのです。』」

イエスはイスラエルの望みです。

【プロシ博士】 アーメン。そしてユダヤ人の王です。それに触れてくれて良かったです。もう一つ読んでほしい節があります。第一テサロニケからです。それも、ユダヤ人を憎むの人がいつも使いたがる聖句ですから。テサロニケ人への手紙 第一2章14節と15節。

【アミール】 はい、14節と15節を読みます。

「兄弟たち。あなたがたはユダヤの、キリスト・イエスにある神の諸教会にならう者となったのです。彼らがユダヤ人に苦しめられたのと同じように、あなたがたも、自分の国の人に苦しめられたのです。ユダヤ人(Judean)は、主であられるイエスをも、預言者たちをも殺し、また私達をも追い出し、神に喜ばれず、すべての人の敵となっています」

【プロシ博士】 その通り、いくつかの翻訳では「Judeans」が「Jews」と訳されていて、彼らは理解していないんです。そして、マッカーサーが彼の解説書の中でここを強調しています。ユダヤ人全体ではなく、ジュディアンです。迫害した人達です。サウロ(パウロ)を迫害したのは、ラビ系のカルトです。ですから、やはり、それは今日に至るまでも、二つの新しい契約の間の家族内の争いなのです。

【アミール】 これで締めくくります。本物のユダヤ人は、まだ存在しています。

【プロシ博士】 アーメン。

【アミール】 彼らは、消えませんでした。神にはご計画があります。

【プロシ博士】 神は、彼らは決して消えることはないと言われました。

【アミール】 神は約束されました。神は彼らのために計画を持っています。神は奇跡的に彼らを彼らの土地に連れ戻し、神は彼らのためにその土地を回復された。

【プロシ博士】 彼らの罪にも関わらず、神は彼らを連れ戻されました。

【アミール】 全くです。エゼキエル36章にそう書いてあります。

【プロシ博士】 彼らの罪にもかかわらず、神は彼らを見捨てられませんでした。

【アミール】 神はその土地を回復し、その言語を回復し、この辺りのすべてのものを回復されました。私達は二人とも、イスラエルがまだ存在し、ユダヤ人がこの地に戻っている事の、本当の証拠です。そして私が皆さんに伝えたいのは、イスラエルの神は、真実なるお方です。もしも、神がイスラエルのことを忘れてたり、イスラエルを置き換えたり、イスラエルを取り除かれたりするならば、あなたは、神があなたに同じ事をなさらないと、どうして、そう確信できるでしょうか？つまり、イスラエルに対する神の忠実さは異邦人にとって、神が契約を守られるという保険証書なのです。

【プロシ博士】 ところで、神は、イスラエルが罪を犯している最中にも、イスラエルに忠実でした。彼らがまだ罪人であった時…神は私達をどのように救われましたか？異邦人もユダヤ人も。

【アミール】 私達がまだ罪人であった時に。

【プロシ博士】 その通り。同じパターンです。アーメン。

【アミール】 ありがとうございます。神の祝福がありますように。奥さんのスーさんと、お子さんたちによろしくお伝えください。

これで終わりです。皆さん、このミニストリーのためにお祈りくださって、ありがとうございます。一言、言っておきたいと思います。もし、あなたが神が愛するものを憎むならば、最終的に、あなたは、神が憎むものを愛するようになります。

神の祝福がありますように。



← スマートフォンなどのカメラで読み込むと、YouTubeのメッセージが見れます。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2021.04.21 (Wed)